

名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会第42回幹事会議事録

- ・日時：平成24年6月12日（火）10:00～11:30
- ・場所：西尾市役所54会議室
- ・出席：（沿線市町）西尾市交通対策課 近藤課長、中根課長補佐、矢次主査
蒲郡市企画広報課 吉見課長、川畑主査、小田主事
（愛知県）地域振興部交通対策課 渡邊主幹、木佐貫課長補佐、清水主査
（名鉄）計画部事業推進課 近藤課長、小川課長補佐、山口担当員
（オブザーバー）中部運輸局鉄道部監理課 二輪専門官

[ワーキング部会の確認事項]

○平成24年度の進め方について、以下の意見が各者より提示された。

(西尾市)

- ・現行のスキームをベースに考えていきたい。

(蒲郡市)

- ・運行継続の確認を可能な限り早めに行いたいと考えている。

(名鉄)

- ・支援スキームから検討していく必要があると考えている。

(愛知県)

- ・25年度以降の路線の在り方について、本年度検討すべきスケジュールをまず決めるべきである。

[25年度以降の運行形態について]

(名鉄)

- ・25年度以降の運行形態についてはどのように考えているのか。

(西尾市)

- ・名鉄による運行を引き続き希望したい。上下分離等の運行形態も次回ワーキング部会にて検討したいと考えているが、BRT等についてもかなりの投資が必要と認識している。

(蒲郡市)

- ・加えて、2市による名鉄資産の買収は困難ではないかと考えている。

[25年度以降の名鉄に対する運行支援について]

(西尾市)

- ・名鉄は全社的に見れば黒字ではないかという意見が出ており、自治体の負担について一般市民からの理解を得にくい部分もあるように感じている。

(名鉄)

- ・これまでも説明してきたが、鉄道は利用の有無に関わらず一定の固定費が発生する。

全線で黒字と言っても、主要線区から利用実績が低下している線区に対して内部補填を行っているような状況である。また、当該区間のように大量輸送という鉄道特性を発揮できていない線区を当社単独で維持していくことは難しいことをご理解願いたい。

【情報交換】

- 西浦温泉「葵」が、鉄道利用者について、大衆演劇の観劇料と入浴料金を無料化する取組を開始する予定。
- 鉄道利用の小中学生に対して、蒲郡市保有施設の無料化をする件については、4月で120名ほどの実績があった。

(以上)